



## 「学ぶ」ってなに？

本日の学校朝会では、「学ぶってなに？」ということ  
をみんなで考えました。

「学ぶ」と「習う」とは何が違うのだろうか？という問  
いかけに、子どもたちは「何だろう？」「同じのような気  
がする・・・」と答えてくれました。

「習う」とは「繰り返しやってみて(知識・技術を)覚  
え、身につけようとする。また単に、おそわる。教えを  
受ける。」と辞書には書かれています。では、「学ぶ」  
とは何なのか……。

先生に教えてもらうことや暗記することだけでなく、  
「何で？どうして？」と考え、自分から友だちや先生  
に質問したり、調べたりすること。そして、何かをする  
ことで、何かに気づいて、ピロピロリーンと自分が変わ  
ることです。

例えば、自分で調べることで「なるほど！こうだった  
のか」と気づいて、新しい考えを持つ自分に変わると

いうことです。何かができるようになるというのは、それまでできなかった時から自分が変わったということ  
です。色々なことをやってみる中で、みんなと話し合っ  
て考えたり、何か探して見つけたり、新しいことを知っ  
たり、そして、また考えたり・・・その積み重ねが、全部自分を変える成長させる「学び」です。

学校の中でもたくさんの「学び」があります。「させられる」ではなく、自分から「学び」を広げて、自分をピロ  
ロリーンと進化させてほしいと思います。

そんな7月にしてほしいということ子どもたちに話しました。

あっという間に7月になりました。そして、あと2週間ほどで夏休みです。暑さも厳しいですが、1学期の締め  
括りにラストスパートをかける子どもたちと教職員で頑張っていきたいと思います。

